

報道機関 各位

フードバレーとかち首都圏プロモーション「十勝ドリームマップ会議 in 東京」について

帯広市は、十勝管内自治体や金融機関、民間企業等と連携して、2015 年度から「とかち・イノベーション・プログラム」をはじめとする、十勝における新たな「しごと」の創出に取り組んでいます。その取り組みの一環として、2016 年度から 3 回にわたり、地域内外の異なる領域の起業家や支援者等が互いに触発し合うネットワーキングイベント「100 人のイノベーターが描く十勝ドリームマップ会議」を開催してきました。

今年度は、十勝におけるビジネスの発展・成長を目的として、首都圏において、十勝の事業者と首都圏の企業等がつながる契機とするイベントを開催します。

1 イベントの日時

令和元年 11 月 25 日（月）14 時から 19 時 30 分（予定）

2 会場

fabbit Global Gateway ”Otemachi”（ファビット グローバル ゲートウェイ おおてまち）
（東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル 2 階）

3 参加者

約 100 名

十勝の事業者（農業、食関連等）

首都圏の企業等（流通、小売、航空、ホテル、投資家、起業支援者等）

協賛者（松井利夫様（㈱アルプス技研 創業者 最高顧問）、敷島製パン㈱様、フジッコ㈱様、サッポロビール㈱様、アース環境サービス㈱札幌支店帯広営業所様、富士通㈱帯広支店様）
支援機関等

4 イベントの内容（予定）

- （1）オープニング（市長挨拶、企画・趣旨説明等）
- （2）参加者の相互理解を深めるためのワークショップ
- （3）十勝の事業者によるプレゼンテーション
- （4）交流会

問い合わせ先

商工観光部商業まちづくり課 経営支援係

担当：中田 （電話 65-4165）

フードバレーとかち首都圏プロモーション「十勝ドリームマップ会議 in 東京」 十勝の参加予定事業者

事業者名	代表者	事業内容
【農業】		
1 株式会社A-netファーム十勝	代表取締役社長 森田 哲也	約70ha(約20万坪)の農地で、小豆を中心とする豆類、馬鈴しょ、小麦、アスパラガス等を生産する農業法人。「発酵あずき」「十勝黒豆プロテイン」等の加工品の製造・販売も行っている。小豆(AZUKI)で世界初のグローバルGAP認証を取得。
2 有限会社コスモス	代表取締役 安藤 智孝	肉用牛一貫生産、牛肉販売、牛肉加工品の製造・販売を行う農業法人。常時飼養頭数2,400頭。「ブラウンスイス牛コーンビーフ」が農林水産省主催「フードアクションニッポンアワード2016」において全国1,008アイテムの中からトップ10に入賞。
3 合同会社更別ブリディクション	代表 岡田 昌宏	60haの農地を研究フィールドに、実際の生産と農業研究を行い、現場型かつ発展融合型の研究開発を行っている。農業研究、馬鈴しょ・小麦の育種、ビッグデータ収集、ドローン空撮、農業コンサル、研究請負。
4 株式会社十勝加藤牧場	代表取締役社長 加藤 賢一	約80頭のジャージー牛を飼育し、ジャージーの生乳を出荷する十勝管内唯一の牧場。北海道のジャージー乳の約7割のシェアを占める。生乳のほか、ヨーグルト、チーズ、バターを製造・販売。
5 株式会社とかち河田ファーム	代表取締役 河田 利則	人参やジャガイモなどの根菜類を自社生産するほか、農作業や選果作業の受託も行っている。現在、スーパーフードと言われる「キヌア」の試験栽培に取り組んでいる。
6 株式会社なまら十勝野	代表取締役 小山 勉	15軒の農家で構成する農産物販売会社。各農家の野菜を同社ブランドとして、道内外の飲食店や加工業者、スーパーなどに出荷しているほか、インターネットでの野菜の直接販売も行っている。
7 ㈱ノラワークスジャパン	代表取締役 中川 裕之	融氷冷熱と温泉熱という自然エネルギーを利用して、真冬のマンゴー「白銀の太陽」を生産。東京都内の百貨店等で取り扱い。
8 前田農産食品株式会社	代表取締役 前田 茂雄	120haの畑を所有し、小麦、甜菜、ポップコーン、ひまわりなどを生産・販売。自社ブランド「顔の見える小麦」5品種、電子レンジ専用の「北海道十勝ポップコーン」を販売。同ポップコーンは農林水産省食料産業局長賞を受賞。
9 北王農林株式会社	代表取締役社長 藤原 壽美	約130haの農地、ビニールハウス60棟で馬鈴薯、小麦、小豆等のほか、グリーンアスパラや葉物野菜を栽培。自社で農家レストランや農産物販売所を運営している。
【食品】		
10 有限会社十勝スロウフード	代表取締役 藤田 恵	非加熱食肉製品「牛とろフ레이크」をはじめとする牛肉加工食品の製造・販売。使用する牛肉は系列農場で広大な自然環境と牛本来の生き方にあつた餌を食べて育てられている。「牛とろフ레이크」は、日本最大級のフードフェス「まんバク」にて、2017年から2019年において3連覇を達成。
11 株式会社とかち製菓	代表取締役 駒野 裕之	十勝産小豆や道産食材を使った大福や団子、白玉などの和菓子をメインに製造し、道内外のコンビニチェーン等で販売しているほか、マレーシア、台湾、ベトナムなどに輸出している。マレーシアへの展開では、本社工場でハラール認証を取得し、現地法人も設立。
12 十勝品質事業協同組合	代表理事 佐藤 聡	6つのチーズ工房がつくるラクレットチーズを十勝川温泉に整備した共同熟成庫において、温泉水(モール泉)をベースにした液で磨き上げ熟成させた「十勝ラクレットモールウォッシュ」を製造・販売。北海道が高品質な道産加工食品を選定する「北のハイグレード食品セレクション」に選ばれている。
13 晴cafe合同会社	代表 景山 善美	北海道・十勝産の原料を使った砂糖を使わない低糖質菓子やグラノーラ製造・販売。糖質量を抑えながらも、しっかり甘いのが特徴。道内外のセレクトショップや薬局等のほか、オンラインショップでも販売。「北のハイグレード食品セレクション」にも選定。
14 株式会社満寿屋商店	代表取締役社長 杉山 雅則	十勝産食材にこだわり、100%十勝産小麦を使用するベーカリー。十勝管内6店舗のほか、東京に2店舗を展開。旗艦店である「麦音店」は、小麦畑を有する敷地面積日本一のベーカリー。
【サービス・その他】		
15 株式会社エイムカンパニー	代表取締役社長 佐藤 慎吾	北海道・十勝産食材を使用する居酒屋等の飲食店を帯広、札幌に17店舗展開。契約農場で収穫した農畜産物を系列店舗で使い、消費者と生産者の距離を近づけることに取り組んでいる。居酒屋をはじめ、ラーメンやスूपカレー、イタリアン等多様な業態を展開中。
16 株式会社エアシア	代表取締役社長 進藤 寛也	小型航空機のシェアリングサービス。インターネット上で、稼働していない機体のオーナーとパイロット、乗りたい利用者をマッチングし、大手航空会社の航路がない全国の空港間の移動を可能とする。
17 株式会社KOYA.lab	代表取締役 岡崎 慶太	移動式タイニーハウスを使用して、宿泊施設がない場所でも、素晴らしい景色のある十勝に滞在して、地元ならではの食・体験を楽しんでもらえるサービスを展開。
18 株式会社ciokay	代表取締役 森 健太	十勝地方・浦幌町で栽培された北海道の花「ハマナス」を主原料とするのオーガニック化粧品「rosa rugosa - ロサルゴサ」を国内外で販売。
19 一般社団法人ちくたいKIP	代表理事 山田 共彦	子ども向け体操教室を運営。発達に不安のある子や運動が苦手な子も一緒に取り組めるプログラムを展開。今後、高齢者の体操コミュニティを創出し、子供たちと高齢者が自然に交流できる環境を目指す。
20 株式会社農業情報設計社	代表取締役 濱田 安之	農業版カーナビ「AgriBus-NAV」を製造・販売。同製品は、トラクターなどの農業機械・農用車両に搭載して、圃場内の直進作業を手伝うGPSガイダンスアプリ。全世界で20万件以上ダウンロードされており、同様のアプリの中で世界シェア3位。
21 株式会社Fant	代表取締役 高野 沙月	ハンターとハンター、ハンターと消費者をつなぎ、狩猟文化を守っていくプラットフォームサービスを展開予定。
22 TASUKI合同会社	代表 山内 一成	約2週間の共同生活と農作業を体験するインターンシップ「ネイチャーダイブプログラム」「アグリダイブプログラム」を企画・運営。これらのプログラムを通じて若者に成長の機会を提供し、人材育成を行っている。通算参加者は1,400名を超える。

問い合わせ先
商工観光部商業まちづくり課 経営支援係
担当：中田 (電話 65-4165)